

パブリックコメント意見募集の結果公表

帯広市中心市街地活性化基本計画（素案）について、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

お寄せいただいたご意見等について検討した結果、帯広市中心市街地活性化基本計画（素案）を次のとおり修正することといたしました。

【意見募集結果】

案 件 名	帯広市中心市街地活性化基本計画（素案）		
募 集 期 間	平成19年 2月20日（火）～平成19年 3月19日（月）		
意 見 の 件 数 （意見提出者数）	8件（2人）		
意見の取り扱い	修 正	案を修正するもの	2件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	1件
	参 考	今後の参考とするもの	4件
	その他	意見として伺ったもの	1件
意見の受け取り	電子メール		1人
	郵送		0人
	ファクシミリ		0人
	直接持参		1人

【意見の概要と市の考え方】

帯広市中心市街地活性化基本計画（素案）

市民等の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
「2期の新たな視点と方向性」について、「ハレ」「ケ」「コト」「長屋」「町屋」など、特に由来の説明がない。	1	【修正】 分かりづらい用語等には注釈を加えるなどの配慮とともに、その用語等を用いなくても支障がない場合には削除することとします。
市民のための中心市街地、外来の人たちに魅力のある中心市街地、それらが融合する視点が必要だ。	1	【既記載】 2の[1]（日常生活の大切さを見直す）では、外来の人たちに魅力のある中心市街地とは、祭りなどのイベントだけが生み出すものではなく、日常的なホスピタリティや居住者と来街者が築くコミュニティなども外来者にとっては非日常的な魅力になり得ることを説明しているものです。

<p>開広団地が中心市街地に組み込まれたことは賛成である。但し、この地区は、住居系、業務系、保健・福祉系、生活関連サービスなどを含む複合的な地域であり、市役所他公共施設も多く「住実ゾーン」と位置づけるのは無理がある。「職住複合ゾーン」と位置づけるべきであり、国の合同庁舎構想も議論されるべきである。</p> <p>「住」、「買」、「観」に加えて「職の安定」も中心市街地の欠かせない要件の一つだと思う。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>本計画は、旧計画の理念や方針をもとに新たな視点と方向性を上乘せし、5年間という短期間で集中的に活性化に取り組もうとするものです。中心市街地に必要な機能には業務系や福祉系など様々なものがありますが、本計画では「商業・居住・文化」に的を絞って実施しようとするものです。従って、市役所周辺については旧計画で「公共・公益ゾーン」として業務系機能の強化を図る方針は継承されており、合同庁舎の建設をはじめとした事業が具体化したときには、これらの事業の本計画への位置づけを検討していきます。</p>
<p>広小路アーケードを単に古くなったから改修するのではなく、アーケード改修について市民の見えるところで議論し、市民の納得できるコンセプトを示して欲しい。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>広小路アーケードの改修については、アーケードの活用コンセプトを練った上で改修計画がまとめられていくものと考えます。</p> <p>事業主体によるアーケード改修が具体化されていくなかで、コンセプト等が市民に周知されていくものと考えています。</p>
<p>素案の中で多目的広場が触れられていないが、駅と藤丸さんとの間に位置し、感動空間として、又中心軸である平原大通りの充実のためにも多目的広場はますます重要性を増すものだと思う。また、南側ホテル構想の実現後を見据えると放置すべきでない。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>駅北多目的広場の中央部は、街の賑わいづくりに欠かせないイベント広場として、また、周辺部は花壇や樹木を配した緑地帯として整備され、四季折々の活用が図られております。なお、広場南側のホテル計画では広場利用者の施設使用や景観対策など、多目的広場への配慮が図られることになっております。</p>
<p>ウォーク&ライドだけでなく、街なかでのウォークはそれはそれで進めるとして、周辺地域との繋ぎを考えて欲しい。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>中心市街地と周辺地域との交通につきましては、路線バスが考えられます。路線バスにつきましては、十勝・帯広全域の住民生活に関わる問題であり、現在独自にその在り方が検討されているものです。</p>
<p>「成果指標のヒントを探る」について、素案のページの過半が占められている。2期計画そのものをもっと掘り下げ、内容充実に努めて欲しい。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>改正された中心市街地活性化法では、取り組むべき事業とともに、事業の成果を客観的に測ることが重要視されていることから、成果指標の在り方についても詳細に記述している</p>

		<p>ものです。計画の内容については、充実に努めてまいりたいと考えます。</p>
<p>社屋の建替えに合わせて、社屋機能のほか「居住系」を柱に、地域に開放するコミュニティセンター的な機能を併設し、防災拠点機能も設置したいと考えており、中心市街地活性化の取り組みに参画したい。</p>	<p>1</p>	<p>【修正】</p> <p>提案事業は、本計画の趣旨に沿ったものであり、地域の課題であるコミュニティの再生に寄与するものであることから、本計画に盛り込むこととします。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり